



あと一步の向上に向けた取組

函館市立西中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

1. 学力や家庭学習状況の継続した調査による実態把握。
2. 校内研修の充実…教師力UP
3. 朝の時間の有効活用（朝読書・チャレンジテスト等）
4. 長期休業中の学習活動
5. 見せる教育活動の実践…授業力UP
6. 個に応じた指導の充実
7. 小・中学校の連携

2 取組の概要

◇ 実態を把握する

- (1) 家庭学習調べ 生活調べ
 - ・家庭学習の習慣化 自主的な家庭学習
 - ・学習方法の提示…学習相談の充実
 - ・生活習慣の改善…「早寝、早起き、朝ご飯」
- (2) 学力の状況把握…傾向分析
 - 1年…学力テスト〈4月実施〉 年間指導計画
 - 2年…CRT〈中1 3月実施〉 指導法改善
 - 3年…全国学テ〈9月実施〉 の改善

◇ 校内研修の充実…教師力UP

- (1) 少人数指導 (TT) 
 - 習熟度別指導の導入
- (2) 授業実践交流…
全教師による実践
参観交流
- (3) 公開授業研究会…指導主事との授業づくり
- (4) 特別支援教育支援員の活用…全学年数学
- (5) 外部人材の活用…「書」の指導
- (6) 学びを高める学習評価の工夫

◇ 朝の時間の活用

- (1) 朝読書〈10分〉
全員が同じ本を読む
話題の共通性
- (2) 朝学習
…繰り返し学習、補充・学び合い学習
- (3) **トライアルウィーク実施**…全学年 3教科



◇ 長期休業中の学習活動

- (1) 全学年で実施…数学〈3年→2週間程度〉
- (2) 自主学習…教科相談の開催〈国語・英語等〉

◇ 見せる教育活動の実践…授業力UP

- (1) 授業参観…年3回 保護者アンケート実施
- (2) 表現力を高める…文化祭 教育芸術祭など

◇ 個に応じた指導の充実

- (1) 放課後学習の実践…適宜 学びの定着

◇ 小・中連携の動き

- (1) 両校で学力向上推進プランを確認。
- (2) 各学校への授業参観・交流の実施。

3 成果 (○) と課題 (●)

- 昨年度末の現2年生のCRTの結果からも昨年度は2教科、今年度は3教科とも全国平均を上回ることができた。
- 3年生の全国学力・学習状況調査の結果から、国語AB・数学ABとも全道平均を上回ることができ、さらに各教科に対する興味・関心が全道平均よりも20ポイント以上高い結果が出たことが大きな成果である。
- 学力の個人差が大きく、特別に支援を要する子どもが増えてきており、学年平均では高いものの、支援を要する子どもへさらにきめ細かな対策が必要である。
- 小・中の連携を始めたが、それぞれの取り組みに違いがあり、さらに互いに交流を深め、9年間を通した子どもの成長へ繋げていかなければならない。